

K-FACTORY ライディングステップの秘密

K-FACTORY ビレットパーツの集大成ともいえる

ライディングステップがさらに進化しました。

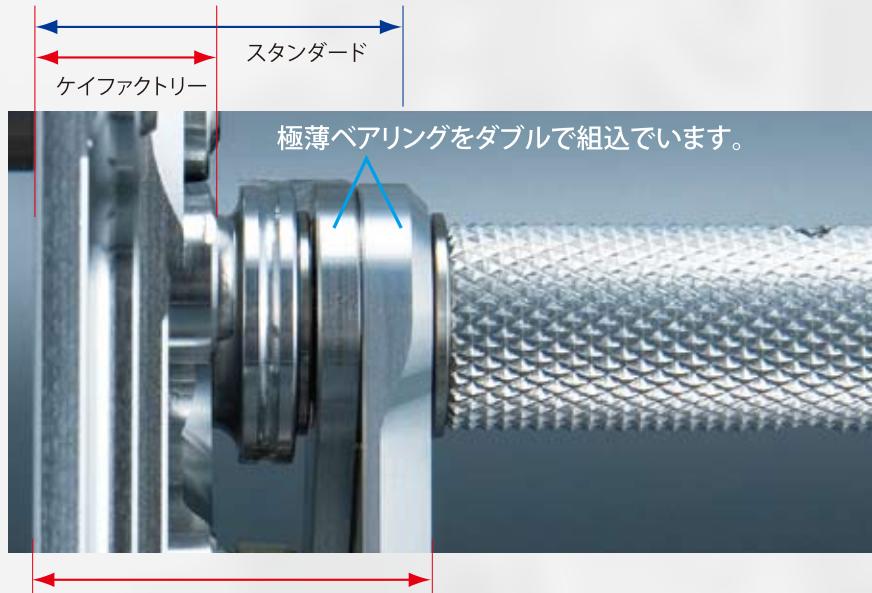
それは技術的な部分だけではなく、一人でも多くの人に

オートバイを操る楽しさを知ってほしい。

また、人車一体という言葉の本当の意味を知るための

きっかけになってほしいという思いの集大成でもあります。

STDとのベースプレートの厚み比較(イメージ)

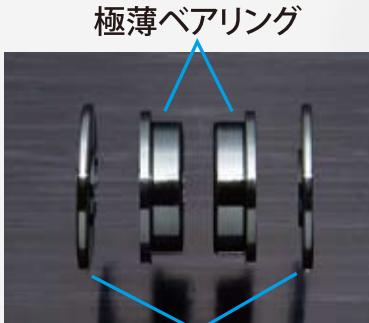


ほぼスタンダードのベースプレートの厚みにシフトレバーまでが納まる超タイトな造り。なおかつ、そのスペースに極薄のベアリングをダブルで組込んでいます。

秘密その1 車体に近いステップ位置がもたらす効果。

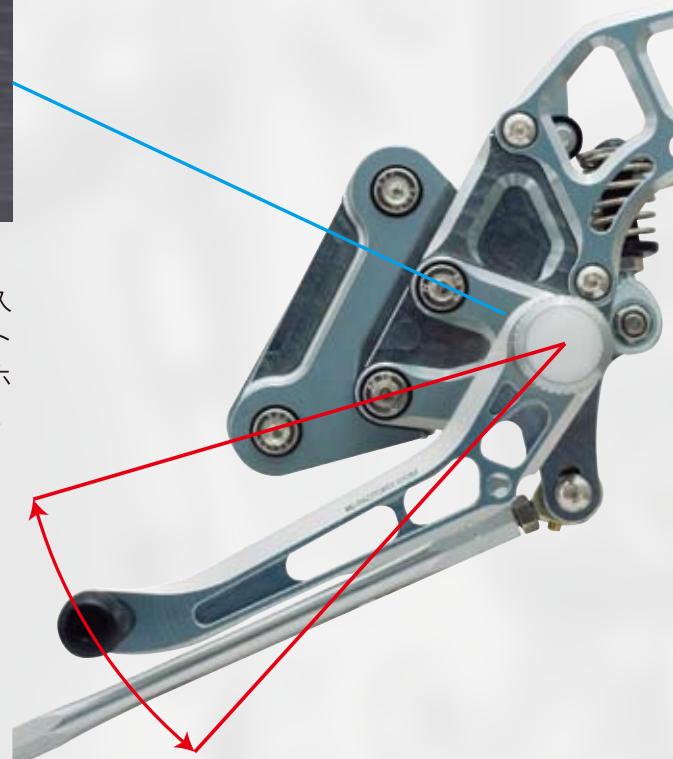
ステップ位置と聞くと、高さと前後の位置を思い浮かべると思います。実はスポーツライディングにおけるこの位置は、車両の重心位置や旋回時の回転軸とライダー乗車位置等から、車種ごとに適切な位置はほぼ決まっているのです。他社との決定的な違いとなるケイファクトリーならではのこだわりは、[ステップバーと車体までの距離をスタンダードの半分の距離](#)にまで近づけていること！その利点は、密着度が増すことでライダーはバイクの挙動を感じやすくなり、ホールド性の向上により安心感が生まれます。また、ステップバーの長さを短くすることなくバンク角も確保。当然足元の自由度も損ないません。この「車体にステップバー」を近づけることは、開発スタッフにとって、どうしても譲れない要素の1つなのです。

ハンドル、シート、ステップの3点の位置関係でライディングポジションは決定されます。その土台ともいえる[足元を決めることが、人車一体へのファーストステップ](#)とケイファクトリーは考え、開発・製品化したライディングステップです。



極薄ベアリングを両側から耐久性に優れたステンレスプレートで挟み込むことにより、砂やホコリからベアリングを守ります。

同軸ならではのスムーズな円運動がシフトやブレーキの円滑な動きを実現。



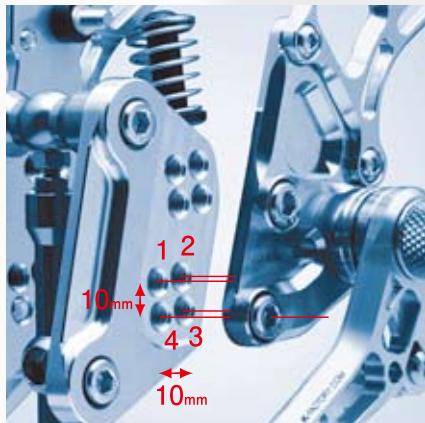
秘密その2 高剛性と低フリクションが生む 極上のシフトフィーリング。

ライダーにとってシフトフィーリングは、とても大事なものです。気持ちよくカチッ！カチッ！と決まる走りにリズムが生まれ安全に気持ちよく走れます。逆にガタついたり動きが渋かったりすると、スポーツライディングなんてできません！それどころか危険ですらあります。

そこでガタ付きのない極上のタッチを生むために、ダブルベアリングを採用。さらにシフトペダル内とペダルプレート内にそれぞれ極薄ベアリングを圧入し、従来のシングルベアリングタイプと同じ厚みに納めました。それをステンレスプレートで挟み込み、ステップバーと同軸にボルトで固定。その精密に削り出された部品を正確に組んだ高剛性なペダル部は、足首の円運動を妨げないスムーズな動きを実現しています。これらに加え、レバーやチェンジロッドの形状、調整機能付き独立ペダルレバーの採用、ペダルノブの材質や大きさなど数々の試行錯誤経て、微妙なリアブレーキのタッチや小気味の良いシフト感を達成しています。



ペダルレバー側に開けられた穴とシフトレバー側の凸部を合わせることにより、24段階(15°刻み)に設定可能。また車種専用にペダルレバーを多数用意しています。



ステップの位置調整にかかる手間を大幅軽減。 ベースプレートに2本のボルトで固定するだけ!

ベストなステップ位置は、車種ごとにほぼ決まっています。ケイファクトリーでは、その位置からライダー好みに合わせられるように上下前後に10mm、最低でも4ポジションを選べるように設定しました。しかもベースプレート以外一式で動かせるため、短時間でポジションチェンジが可能!ライダーの為のありがたい機能のひとつです。

秘密その3 個々の感性にフィッティングする細やかな 気遣いがライダーを満足させる。

基本はペダルレバーとチェンジロッドが90°近くになるように、ペダルレバーの長さを各車種専用に制作しました。まっすぐ力がかかるため口スガなくダイレクト感が損なわれないからです。さらにチェンジロッドには「たわみ」をなくす加工を施すなど、ライダーの感性に近づける工夫を盛り込んでいます。また、別体式のペダルレバーに15°刻みの調整機構を設け、チェンジロッドやリアブレーキロッドの押上げ角度調整、リアブレーキのマスターシリンダー交換、逆チェンジ時の位置合わせ等、様々なフィッティングに役立つよう考えています。充分な強度を持ったベースプレートとペダルプレートを面で固定するために2本のボルトでもガタツキのない剛性を確保しています。



ブーツに優しいジュラコン製のペダルノブは、もしものアクシデント時でも摩擦係数が小さいため衝撃を緩和します。それでも破損した場合、ノブの半分ほど入っているステンレス製のボルト部分をなんとか残し、操作できるようにと考えています。また、ライダーの足の大きさに合うように前後に5 mm調整できるようになっています。